

NPO法人才の木トークカフェ

夢洲に巨大な森を作ろう

—大阪万博2025への提案—

さて、大阪万博2025の会場は、淀川流域、大阪平野の河口に造成される人工島「夢洲」である。万博のビジョン策定や各種施設については、これから様々な議論がなされるであろう。一方、開催場所およびその周辺は不同沈下や地震による液状化など軟弱地盤特有の弱点の顕在化が予測される埋め立て地である。

本トークカフェでは、大阪万博の開催決定を機に、万博のテーマでもある「持続可能な開発（SDGs2030）」を実現し、22世紀に向けたグランドデザインとグリーンインフラを補強する技術開発について議論する。

日時：令和元年6月15日（土）

14時00分～17時00分

場所：東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

（東京メトロ南北線 東大前駅下車 徒歩1分）

主催：NPO法人才の木

共催：大阪府木材組合連合会

後援：（一社）日本木材学会

参加費：無料 ＊どなたでも参加できます。

参加方法：事前の申込は不要です。直接会場にお越し下さい。

但し、人数把握のため、氏名、連絡先（勤務先）を明記し、
電子メール(info@sainoki.org)を頂けると幸いです。

内容

14:00～ 開会挨拶：NPO法人才の木・理事長 竹村彰夫

14:05～ 大阪万博2025「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けて
川井秀一氏（木材活用地盤対策研究会、NPO才の木、京都大学）

14:35～ 丸太打設を活用した軟弱地盤の補強及び炭素の地中貯蔵工法
沼田淳紀氏（木材活用地盤対策研究会、飛鳥建設）

15:25～ コーヒーブレイク

15:40～ トークセッション

司会・コーディネーター：梅咲直照（NPO才の木、桜井ガス(株)）



才の木はトークカフェのような時代を先取る事業をこれからも提案し続けるつもりです。
この機会に、2015年から発行しておりますメルマガ（無料）を
<http://www.sainoki.org/>から購読しませんか。